

証券コード 9644

第53期 ご 報 告

2014年4月1日 ~ 2015年3月31日

www.tanabekeiei.co.jp



株式会社 タナベ経営

経営理念

タナベ経営は、企業を愛し、
企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕し、
広く社会に貢献すべく超一流の信用を軸とし、
国際的視野に立脚して無限の変化に挑み、
常にパイオニアとして世界への道を拓く。

Management Philosophy

株主のみなさまへ

To Our Shareholders

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社、第53期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の事業内容等をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、「全社顧客最適で成長へ挑む」を基本方針に掲げ、その実現に向けて、以下の通りの施策を部門ごとに行なってまいりました。

コンサルティング事業では、戦略ドメイン&マネジメント研究会の拡充や各種セミナーの動員活動強化により、顧客基盤の拡大に努めてまいりました。また、コンサルティングメソッドの開発、品質の向上にも努めた結果、チームコンサルティング契約が増加し、安定した収益を実現しました。

ネットワーク事業では、地域金融機関や会計事務所等とのアライアンス(提携)拡大により、アライアンス先の顧客支援を目的とした勉強会(経営塾)、講演会への講師派遣、経営情報の提供など各種サービスが好調に推移しました。

セールスプロモーション事業では、顧客の商品・サービスのプロモーション企画やツール製作から実施支援までをワンストップで展開してまいりました。マーチャンダイジング分野におきましても、オリジナル商品の企画開発を強化し、顧客の成長支援に努めてまいりました。

経済環境としては、国際情勢の不安や米国景気のもたつき懸念、欧州・中国経済の減速などの不安要素はあるものの、円安・原油安による事業環境の好転と、それに伴う賃上げやインフレ期待の高まりに

より、個人消費増加の兆しも見えてまいりました。

そのような中、当社は昨年、「Vision 2020」を策定し、顧客価値と付加価値率の高い「コンサルティング」を全社的にご提供できる新組織へと生まれ変わりました。顧客最適の全社チームコンサルティング力を高め、「変化と成長に挑む戦略パートナー」として、引き続き「ファーストコールカンパニー –100年先も一番に選ばれる会社」の創造支援に努めてまいります。

なお、この新組織体制の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2015年6月



代表取締役社長

若松 孝彦

Takahiko Wakamatsu

(注) 本ご報告に記載の金額および株式数は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

「Vision 2020」

変化と成長に挑む戦略パートナー

Change & Grow
変化 成長

Vision 2020

創業 60周年

当社は、創業60周年を迎える大きな節目を前に組織体制を改編し、「変化と成長」をスローガンに、全社チームコンサルティングに邁進してまいります。

2015年4月より、事業領域を「戦略コンサルティング」「アライアンス&人材育成」「セールス&プロモーション」「戦略総合研究所」といたしました。各事業部が連携し、組織内の一部門やプロジェクトといった領域に限定するのではなく、祖業であり最大の強みでもある「コンサルティング」を全事業へと拡大・多角化し、顧客へより高度な戦略価値を提供してまいります。

▶ 戦略パートナー組織へ

第53期の事業領域

コンサルティング事業

ネットワーク事業

セールスプロモーション事業

第54期からの事業領域

コンサルティング
戦略本部

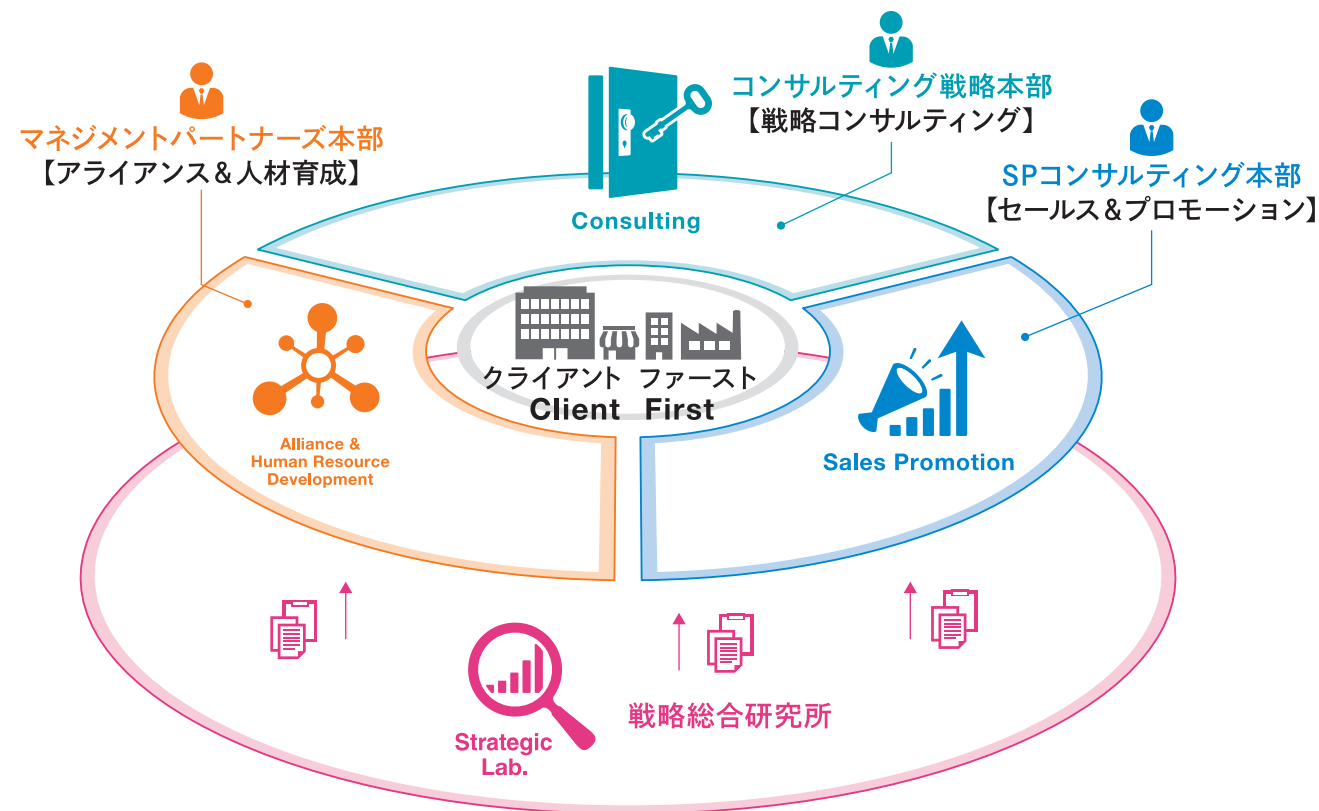
戦略コンサルティング

アライアンス&人材育成

戦略総合研究所

SPコンサルティング本部

全社チームコンサルティング力の強化



▶ 概要

コンサルティング戦略本部

ネットワーク事業のアライアンス(提携)と人材育成サービスの機能を、コンサルティング戦略本部の一事業に組み入れております。また、より価値の高い戦略・経営・人材育成メソッド等の研究開発結果を社内外へと発信できる組織・チームを目指すべく、「戦略総合研究所」を新設し、チームコンサルティングをサポートします。

SPコンサルティング本部

セールスプロモーション事業においては、これまで培ってきた物販スキルにコンサルティング価値を加え、顧客へより高い付加価値を提供する「SPコンサルティング本部」へと名称変更いたしました。

コンサルティング戦略本部
〔戦略コンサルティング〕

Consulting

- ▶ファンクション(経営機能)：事業戦略・収益構造・組織デザイン・経営システム・事業承継等のファンクションにおけるスペシャリストを顧客最適の視点でチーム編成し、的確な戦略コンサルティングを提供しております。
- ▶ドメイン(業種別)：ドメインのスペシャリストで編成されたチームが、業界特有の戦略メソッドを駆使し、固有の戦略課題を解決しております。
- ▶エリア(全国展開)：国内主要10都市のファーム(拠点)に駐在する地域特性を熟知したコンサルタントが、全国ネットワークを活かした地域密着型のチームコンサルティングを推進しております。
- ▶主に中堅企業を対象に、「ファンクション×ドメイン×エリア」のチーム編成で戦略コンサルティングを提供しております。



各ファンクションのスペシャリスト					
	事業戦略	収益構造	組織デザイン	経営システム	事業承継
ヘルスケア					
食品					
卸流通					
Web・通販					

戦略総合研究所

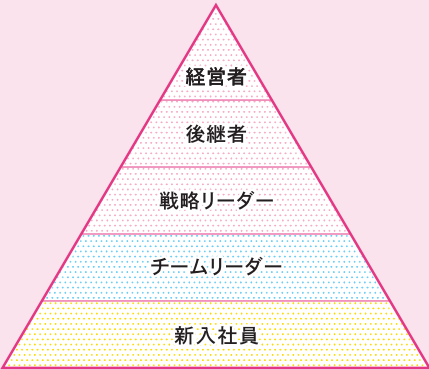
Strategic Lab.

- ▶戦略や経営の研究機関として、コンサルティング、戦略ドメイン&マネジメント研究会、人材開発などのノウハウを集約・分析し、セミナー・経営情報誌(DECIDE・コンサルタントアイ・経営視座)などを通じて企業・社会に還元していきます。



▶マネジメントセミナー

新入社員から経営者までを育成する独自のセミナープログラムにより人材育成を支援しております。



▶戦略ドメイン&マネジメント研究会

成長戦略やマネジメントメソッドを提供すべく、「ファーストコールカンパニー」の研究を日本全国、時に世界をフィールドに活動しております。

戦略ドメイン(業種)別					経営課題別	
建設	食品	ヘルスケア	卸流通	Web・通販	経営の見える化	人材マネジメント
フードサービス	住まいと暮らし	カーライフ	ものづくり		ブランディング戦略	戦略財務



マネジメントパートナーズ本部

〔アライアンス＆人材育成〕

Alliance & Human Resource Development

▶全国の金融機関や会計事務所等とのアライアンス(提携)を通じて、アライアンス先やそのアライアンス先からご紹介いただいた顧客企業の人材育成をサポートします。これまでに培ってきた経営戦略や人材育成のノウハウを提供することにより、「地方創生」につながる「地域経済のビジネス活性化」を支援しております。



▶経営者向けの直接会員組織(イーグルクラブ・ニューリーダーズクラブ)を運営するとともに、これまで培ってきたコンサルティングノウハウを基に、オリジナルな経営情報を会員に発信しており、スマートフォン・タブレットにも対応しております。





SPコンサルティング本部

〔セールス＆プロモーション〕

Sales Promotion

▶セールスプロモーションやプロモーションツール、マーチャンダイジングに特化したコンサルタントが、企業のセールスプロモーション課題・目的を精査した上で、プランニングから実施までワンストップで支援をしております。また、1959年発行のビジネス手帳「ブルーダイアリー」をはじめ、オリジナル商品の企画開発・製作支援も行なっております。

プロモーションプランニング

プロモーションツール

- 
 - プロモーションマネジメント
 - イベントプロモーション
 - メディア・コンテンツプロモーション
- 
 - プレミアム・ノベルティ
 - コミュニケーションツール
 - デザイン制作

オリジナル商品開発支援

- 
- OEM
 - 商材・部材調達
 - ライセンス&ブランドコラボ商品製作
 - 販売チャネル(ルート)開拓

流通卸

- 
- タナベブランド商品の提供
 - ノベルティ用部材調達

セールスプロモーション事例

日本郵便株式会社様：「ごっこあそび」で手紙の魅力を伝える

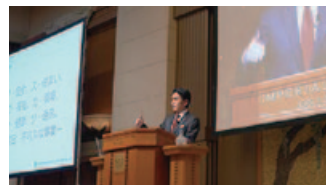
日本郵便株式会社様、幼稚園の園長先生方と共に幼稚園児を対象とした「おてがみごっこあそび」を開発しました。2014年度は、約120の幼稚園でプログラムが導入、実施されました。



経営戦略セミナー

1959年より毎年開催しております経営セミナー。
2014年11月から12月にかけて全国10会場で開催。
2,000名を超える経営者・経営幹部のみなさまにご
参加いただきました。

基本テーマは、「成長エンジン加速化戦略」。
世界経済・日本経済の動向を踏まえて、次年度のと
るべき戦略の基本方向と、打つべき具体策を提言いた
しました。



▶ 新刊のご案内



未来志向型経営

著者：取締役 東京本部長 仲宗根 政則

価値提供・取引先関係・納税・雇用などの社会的責任を果たすべく、企業は環境変化に対応して進化し続ける「成長企業」であり続けなければなりません。そして、成長企業であり続けるためには、未来志向で「事業モデル」「社風」「次世代経営幹部育成システム」「トップの思考・行動」を革新し続けることが求められます。

本書は、実際の成長企業のトップ・経営幹部との面談やそのコンサルティング事例を踏まえて未来志向型経営の必要性を説き、成長企業であり続けるための「4つの革新」について述べた1冊です。

ホームページを全面的にリニューアルいたしました。

株主・投資家のみなさまに資料検索など簡単・便利にご利用いただけるよう「IR情報」サイトをリニューアルいたしました。

今後も情報開示の充実に努めてまいります。みなさまからのアクセスをお待ちしております。



▲トップページ



▲IR情報ページ

<http://www.tanabekeiei.co.jp>

タナベ経営 検索

個人投資家向け説明会

2015年3月2日(月)、東京のトラストシティカンファレンス・丸の内にて個人投資家向け説明会を開催しました。

約170名の個人投資家のみなさまにご参加いただき、説明会では、会社概要、業績、中期ビジョンなどについてご説明しました。

今後も投資家のみなさまにご理解を深めていただける機会を設けてまいりたいと考えております。



数字で見るタナベ経営

創業**58**周年

1957年10月16日
創業



25,000人
以上

幹部候補生
スクール修了生数(累計)

139提携先

金融機関・会計事務所との
提携先数

5,000社
以上

創業以来の
コンサルティング社数

6,857人

セミナー年間参加実績



約3,500社

セールスプロモーション事業
直接法人顧客

11,000社
以上

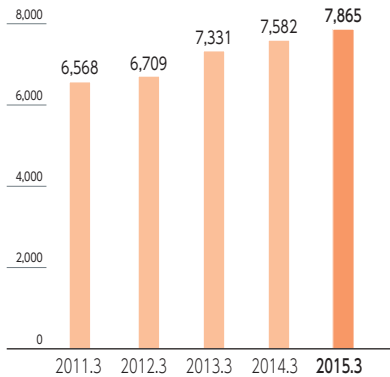
ネットワーク事業
有料会員数



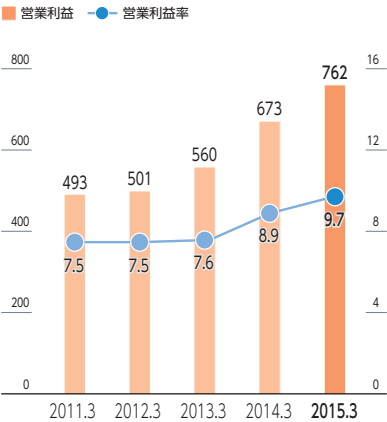
※拠点図は2015年4月現在

沖縄支社

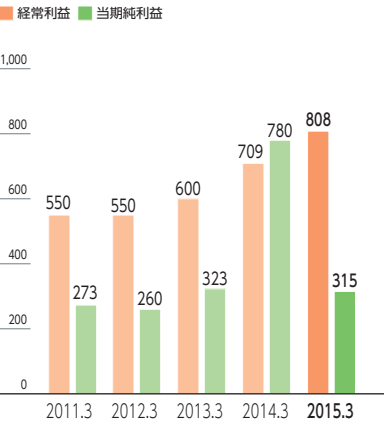
売上高 (百万円)



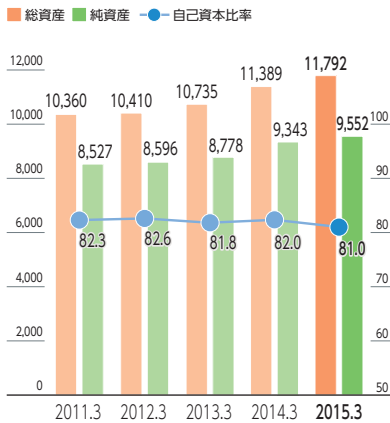
営業利益・営業利益率 (百万円) (%)



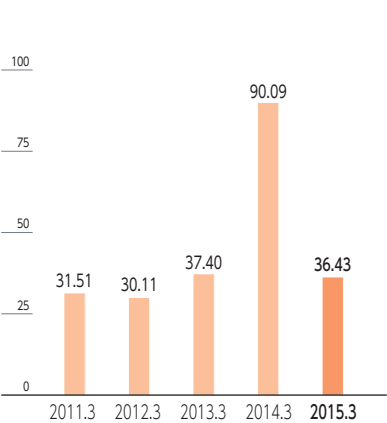
経常利益・当期純利益 (百万円)



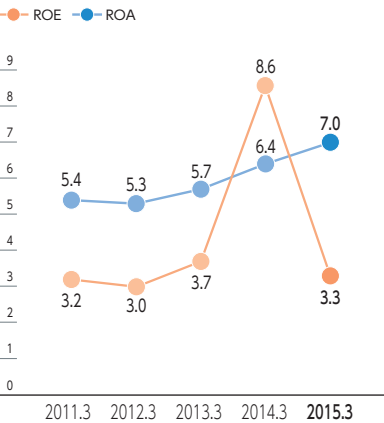
総資産・純資産・自己資本比率 (百万円) (%)



1株当たり当期純利益 (円)



ROE・ROA (%)



ROE：株主資本利益率 ROA：総資産経常利益率

コンサルティング事業

売上高

38億08百万円

前期比2億16百万円(6.0%)の増加

主力の経営協力をはじめ、戦略ドメイン&マネジメント研究会やセミナーも好調に推移し、トータル売上は上記の通り増加しました。

売上高構成比

48.4%

売上高推移

3,171 3,150 3,391 3,592 3,808

2011.3 2012.3 2013.3 2014.3 2015.3

(単位:百万円)

ネットワーク事業

売上高

3億77百万円

前期比6百万円(1.6%)の増加

提携先向けの講演会等や情報提供の受注が好調に推移し、トータル売上は上記の通り増加しました。

売上高構成比

4.8%

売上高推移

362 356 368 371 377

2011.3 2012.3 2013.3 2014.3 2015.3

(単位:百万円)

セールスプロモーション事業

売上高

36億79百万円

前期比60百万円(1.7%)の増加

イベントやプロモーション支援、マーチャンダイジング分野も好調に推移し、トータル売上は上記の通り増加しました。

売上高構成比

46.8%

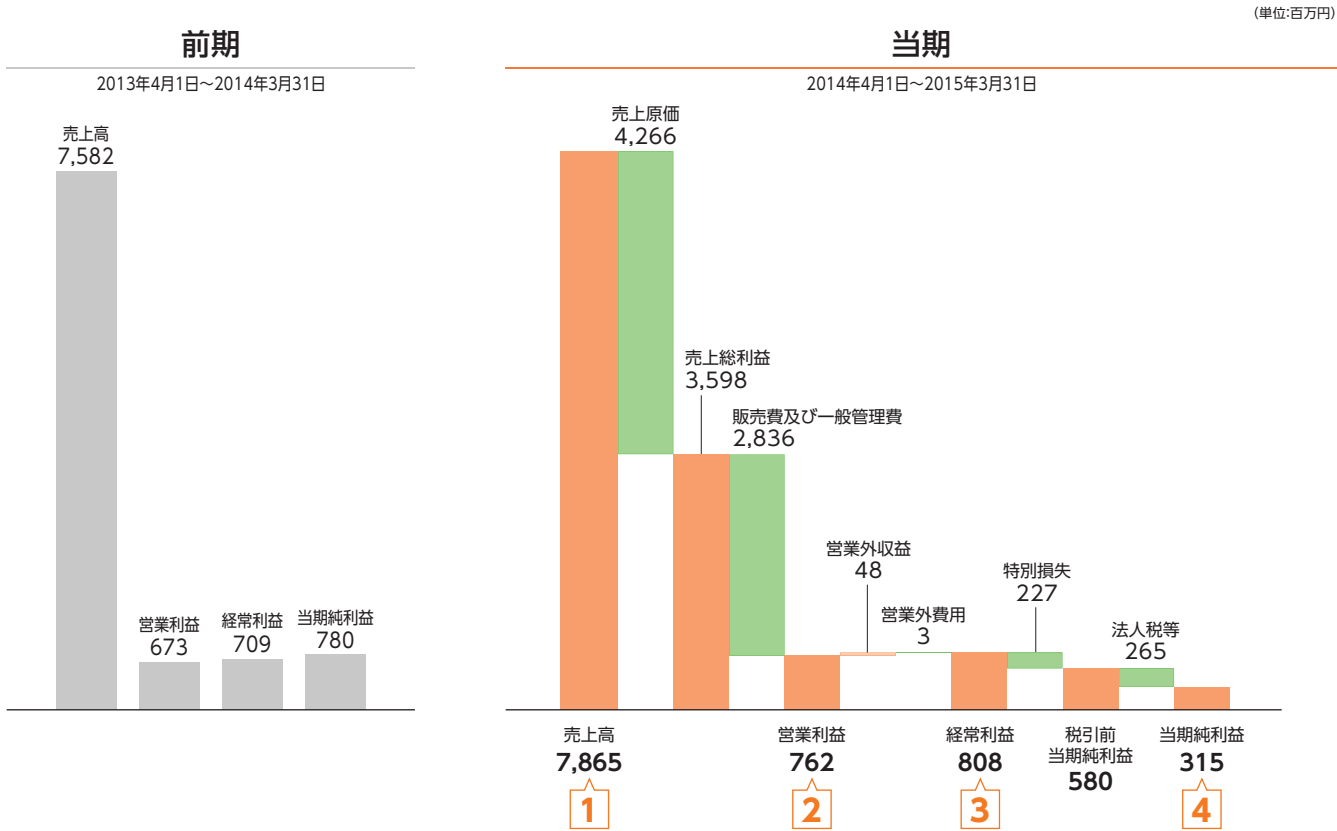
売上高推移

3,033 3,201 3,571 3,619 3,679

2011.3 2012.3 2013.3 2014.3 2015.3

(単位:百万円)

損益計算書の概要



Point 1 売上高

コンサルティング事業6.0%増加、ネットワーク事業1.6%増加、セールスプロモーション事業1.7%の増加となり、トータル3.7%の増加となりました。

Point 2 営業利益

売上高増加が寄与し、また付加価値率が上昇したため、13.3%の増加となりました。

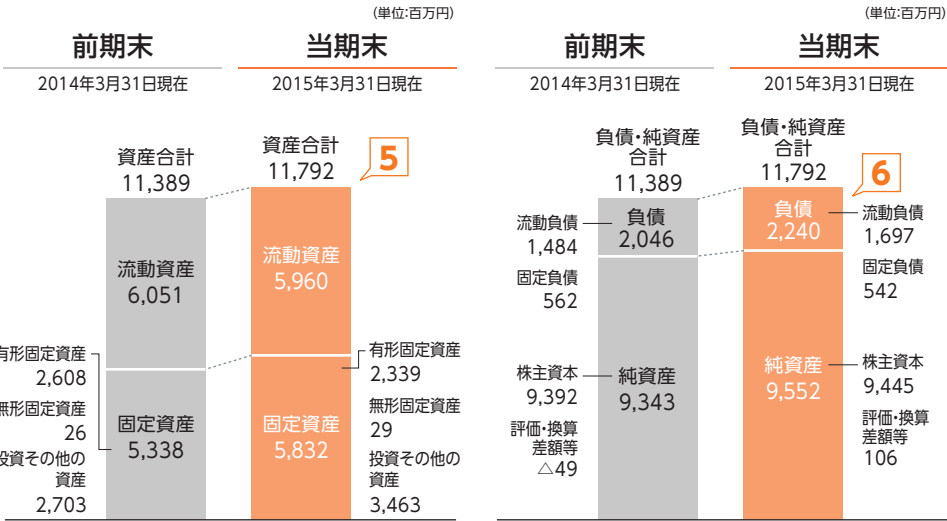
Point 3 経常利益

営業利益の増加等により、13.9%の増加となりました。

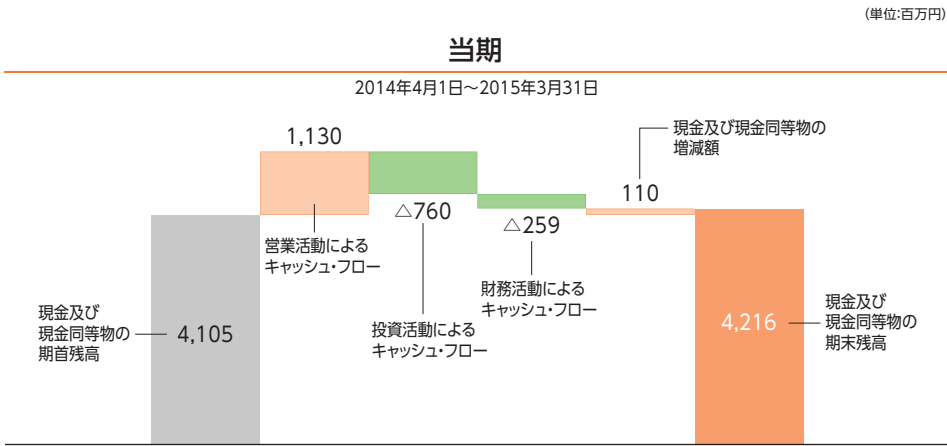
Point 4 当期純利益

名古屋研修センターの減損損失(特別損失)2億24百万円を計上したことと、税金費用の計上において、前事業年度は、遊休地の譲渡により発生した欠損金に対して繰延税金資産を計上したことにより、マイナスでありましたが、当事業年度は2億65百万円を計上したため、当期純利益トータルでは59.6%の減少となりました。

貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



Point 5 資産

流動資産は、法人税等の還付等により現金及び預金の増加等がありました。繰延税金資産や未収還付法人税等の減少により91百万円減少いたしました。

固定資産は、長期預金や投資有価証券の増加等により、4億93百万円増加したため、資産トータルでは4億2百万円の増加となりました。

Point 6 負債

流動負債は、未払法人税等や未払消費税等の増加等により2億13百万円増加いたしました。

固定負債は、役員退職慰労引当金の増加がありましたが、退職給付引当金の減少により、19百万円減少したため、負債トータルでは1億93百万円の増加となりました。

Point 7 キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、前払年金費用等が増加したものの、税引前当期純利益5億80百万円や減損損失の計上等により、トータル11億30百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券における売却及び償還による収入28億円がありましたが、有価証券の取得による支出28億99百万円や定期預金への預入による支出9億円等により、トータル7億60百万円の支出となりました。

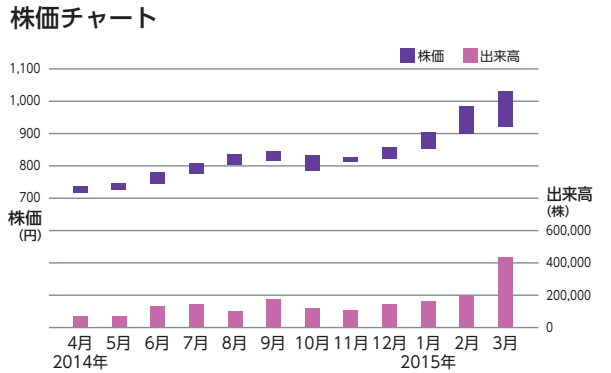
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、トータル2億59百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、42億16百万円となりました。

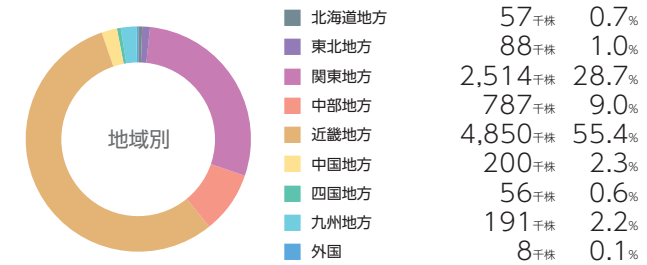
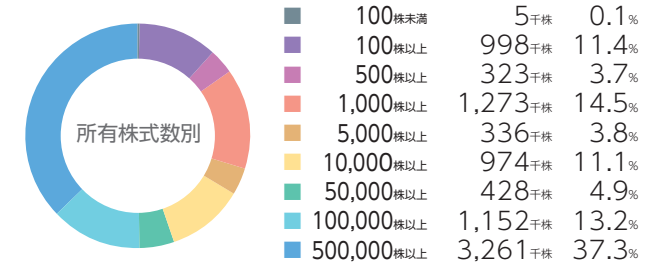
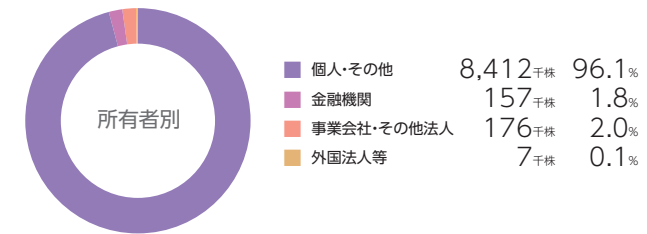
発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数	8,754,200株
1単元の株式数	100株
株主数	9,475名

大株主の状況 (上位10名)					
株 主 名				持株数	持株比率
田	辺	昇	一	1,264 (千株)	14.5 (%)
田	辺	次	良	731	8.4
田	邊	洋	一 郎	676	7.8
檜	崎	十	紀	589	6.7
タナベ経営取引先持株会				272	3.1
タナベ経営社員持株会				225	2.6
上	田	信	一	225	2.5
木	元	仁	志	155	1.7
田	原	敏	男	144	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社				129	1.4

(注)持株比率は自己株式(90,859株)を控除して計算しております。



株式分布状況



商号	株式会社タナベ経営 TANABE MANAGEMENT CONSULTING CO., LTD.
本社所在地	大阪市淀川区宮原3-3-41
ホームページ	http://www.tanabekeiei.co.jp
創業	1957年10月16日
設立	1963年4月1日
資本金	1,772百万円
社員数	300名

役員	(2015年6月25日現在)	
代表取締役会長	田 辺 次 良	
代表取締役社長	若 松 孝 彦	コンプライアンス担当
取締役副会長	木 元 仁 志	
専務取締役	長 尾 吉 邦	コンサルティング戦略本部長 戦略総合研究所・SPコンサルティング本部担当
常務取締役	大 川 雅 弘	中部本部・北陸支社担当
常務取締役	中 村 敏 之	北海道支社・東北支社・新潟支社担当
常務取締役	南 川 典 人	九州本部・中四国支社・沖縄支社担当

取締役	中 東 和 男	マネジメントパートナーズ本部担当
取締役	仲宗根 政 則	東京本部長
取締役	藁 田 勝	大阪本部長
取締役	松 永 匡 弘	経営管理本部長
社外取締役	市 田 龍	市田龍公認会計士事務所 所長 京福電気鉄道株式会社 社外監査役 株式会社ダイセル 社外監査役
常勤監査役	中 野 廣 章	
社外監査役	谷 宜 憲	弁護士 谷宜憲法律事務所 代表 アールワイ保険サービス株式会社 取締役社長
社外監査役	矢 崎 晴 久	櫻護謨株式会社 社外監査役

事業所	(2015年6月25日現在)	
本 社	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41 TEL. (06)7177-4011
コンサルティング戦略本部		
東 京 本 部	〒150-6034	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー34F
中 部 本 部	〒450-0002	名古屋市中区区名駅4-6-17 名古屋ビルディング5F
大 阪 本 部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
九 州 本 部	〒810-0001	福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡12F
北 海 道 支 社	〒060-0005	札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ11F
東 北 支 社	〒980-0811	仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー15F
新 潟 支 社	〒950-0087	新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル5F
北 陸 支 社	〒920-0856	金沢市昭和町16-1 ヴィサージュ5F
中 四 国 支 社	〒730-0016	広島市中区鞆町13-4 広島マツダビル10F
沖 縄 支 社	〒900-0015	那覇市久茂地1-12-12 ニッセイ那覇センタービル10F
名古屋研修センター	〒481-0041	愛知県北名古屋市九之坪山73-1
戦略総合研究所		
	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
マネジメントパートナーズ本部		
	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
SPコンサルティング本部		
[SP営業本部]		
東京一・二・四課	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
東 京 三 課	〒330-0845	さいたま市大宮区仲町1-104 大宮仲町AKビル4F
大 阪 一 課	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル6F
[MD営業部]		
東京MD課	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
大阪MD課	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
[企画開発部]		
	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F
[管理部]		
東京総務課	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F
大阪総務課	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主日 3月31日
中間配当金受領株主日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場
公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
<http://www.tanabekeiei.co.jp/koukoku/index.htm>
ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社では毎年9月30日現在、100株以上保有の株主のみなさまに当社の特製手帳を贈呈いたします。ご愛用いただければ幸いです。



有害廃液を排出しない
「水なし印刷方式」を採用しています。

株主さま向けアンケート

株主のみなさまの声を お聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9644

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元
に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なし
にこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ
fe-株主リサーチ事務局

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



環境にやさしい植物油
インキ(ベジタブルインキ)
を使用しています。